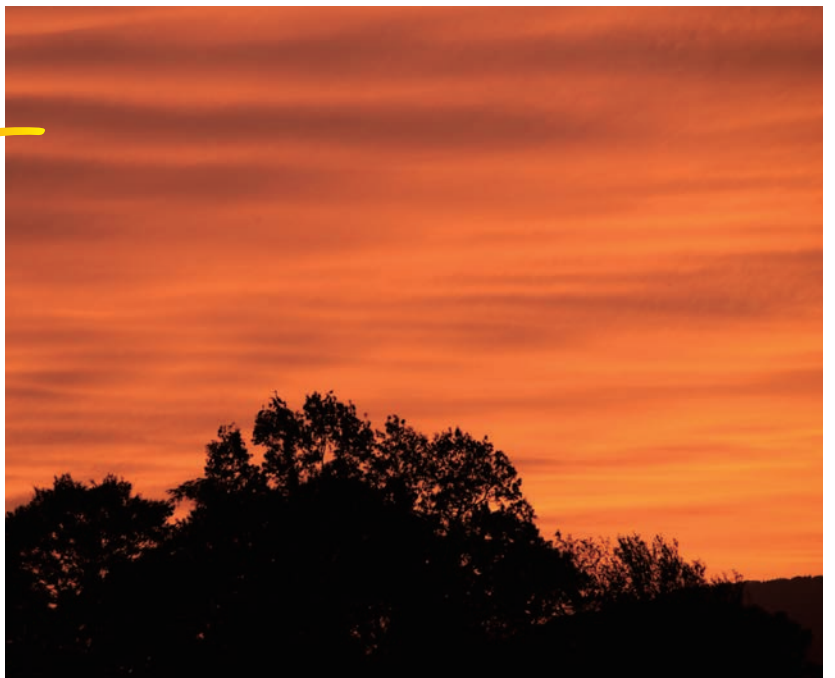


日本には昔から独特の色の呼び方がありました。今回は唐紅。鮮やかな濃い紅色です。「千早ぶる神世もきかず龍田川唐紅に水くくるとは」のに詠まれた紅葉の美しさを想い描くことができますでしょう。



ご挨拶

日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

アイリスクラブ通信「虹」は平成14年4月の発行以来10年を超える歳月を経て、たくさんの方々の親しんでいただける紙面として育てていただきました。皆さまと公益社をつなぐ架け橋としてコミュニケーションツールのひとつとしての役割でした。

しかしその願い以上に紙面を通して読者の皆さまとの結びつきは心を通じたものとなり、高いご評価をいただくまでに至りました。皆さまに育てられ交流の場となりました「虹」はこれからも「一方通行の情報発信」ではなく、これまで以上に皆さまのご意見やご要望を反映致し双方向の情報を受発信してまいります。

私たちは時代における総合サービス企業として地域の皆さまの生活サポートと、更に心が通い合うサービス提供に努めてまいります。

今後とも公益社グループならびに「アイリスクラブ」をよろしくお願ひ申し上げます。

株式会社 公益社

代表取締役 木川英樹

RE DISCOVER NIPPON

ニッポン再発見⑫
多景島の誓いの御柱

湖の真ん中に浮かぶ島の名前は「多景島」。長辺約240メートル、最大幅約80メートル、花崗岩が湖底から屹立(きつりつ)し、岩肌がむき出しになっている。見る角度によって多様な景色に見えることから「多景」という字をあてる。江戸時代に彦根の荒神山から土を運び、木を植えたというから、にわかには信じがたい。

島には高さ約10メートルの「南無妙法蓮華経」の文字が彫られた「題目岩」と、高さ23メートルに及ぶ「五箇条の御誓文」を記した「誓の御柱(みはしら)」があり島の象徴となっている。青銅製五角柱の塔であり、それぞれの面に五箇条の御誓文が彫られている。名前を「誓の御柱」という。

滋賀県警察部長水上七郎の主唱によって、大正13年(1924)9月に起工、14年8月に竣工、翌15年4月15日に除幕式を迎えている。70余万人から10万余円の献金を集め、皇室から御下賜金(ごかしきん)を賜って建設されたという。

御誓文発布から56年後、水上七郎は未曾有の経済発展の末、分裂・対立しつつある国民諸階層を再び和合させるためには、明治天皇が維新の際、公議世論の尊重・旧習の打破・国際社会への積極的参加等を誓った五箇条の御誓文を、人々が日々仰ぎ見て精神を修養できるような一大モニュメントを、国民的協力のもとに建設することが急務であると考えたのだ。そして、地理上日本の中心であり、古来より「信仰の島」といわれた多景島を建設地に選んだのだ。

第2次世界大戦後、大部分のこの類のモニュ



メントは占領軍によって除去されたはずが、多景島のそれは何故、存在するのか…? 秋田県鹿角市にも多景島の「誓の御柱」と同じ名前、同じデザインのモニュメント(高さ8メートル)があるが、関係はあるのだろうか?

平成30年(2018)、明治維新(1868)から150年を迎える。そして、平成27年(2015)は井伊直弼公生誕200年にあたる。開国の元勳直弼公は強い幕府のもと海外雄飛するこの国の未来を描いていた。明治維新へのカウントダウンは、直弼公の決断に始まると言ってもいい。いろいろ判ると、近代化を辿る風景は、現代に新しい意味を伝えてくれるのではないだろうか。文・写真 北原元気

参考文献 『新修彦根市史 第10巻 景観編』編集 彦根市史編集委員会・発行 彦根市(2011年) / 『滋賀県の近代化遺産-滋賀県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書-』編集・発行 滋賀県教育委員会(2000年)



平成26年 公益社一年の主な事業を振り返ります

終活セミナー

1月27日(月)



エンディングノートの話
▶ 八日市公益会館

3月24日(月)



税理士から見るエンディングノート
▶ メモリアルプラザ公益会館

葬祭フェア

2月22日(土)



人形供養祭・講演「お風呂と温泉の正しい入り方」
▶ 近江八幡公益会館

5月27日(火)



社員によるセミナー「はじめての喪主」
▶ 近江八幡公益会館

7月23日(水)



社員によるセミナー「はじめての喪主」
▶ 八日市公益会館

4月5日(土)



人形供養祭・公益亭寄席
▶ 八日市公益会館

落語で
大爆笑!

8月25日(月)



エンディングノートの書き方
▶ 近江八幡公益会館

9月29日(月)



後悔のないお葬式のために
▶ メモリアルプラザ公益会館

6月29日(日)



人形供養祭・琵琶演奏
▶ メモリアルプラザ公益会館

めずらしい
琵琶の演奏

アイリスクラブ

2月1日(土)



手作りお菓子教室
▶ CLUB HARIE

3月27日(木)



春のアレンジフラワー教室
▶ 八日市商工会議所 ▶ 彦根商工会議所

4月3日(木)



パワーストーンプレス教室
▶ 茶房かねしょう ▶ カフェグレコ

9月25日(木)

寮寮講座

10月11日(土)



▶ 神戸動物王国 & 神戸港

社内研修

4月24日(木)



運転技能研修会(体験型の研修)
▶ 月の輪自動車教習所

5月17日(土)



救命救急講習会(AEDの使い方)
▶ メモリアルプラザ公益会館

5月27日(火)



ドライバー安全運転講習会(実技研修)
▶ 運輸事業部敷地内

フラワーガーデンアイリス

9月19日(金)~21日(日)



▶ 10周年大感謝祭

大盛況

各部署の取り組み

葬祭事業部

今期、私たちはISO9001(品質)に則った活動に注目いたしました。その中でも、品質向上を目的に始めた司会研修は、顧問指導の下、基礎から応用まで習得できるよう研修を重ねました。

また、お客様満足度向上からセミナーやイベントの開催を定期的に行い、お客様とのふれあいを大切にしながら安心と信頼の発信に邁進した年でした。

葬祭事業部 加藤宏行



司会研修の様子

カスタマーサービス部

彦根中央支店

この一年、お客さまのお役に少しでも立てるようマナー研修から救命救急講習など様々な勉強会を定期的に行っています。私たちが目指すところは、皆さまに心やわらぐ時を過ごしていただけるよう、ご家族のお気持ちに寄り添えるスタッフでありたいと願っております。ご家族のそれぞれの想いに応えることが私たちスタッフの大切な役割ではないかと感じています。

支配人 清水まゆみ



八日市支店

この一年身近に感じていただける会館作りを工夫してみました。自分たちで植え込みに季節の花を植えたり、木々の葉狩りをしたり…。作業をしているとご近所の人たちから声をかけていただけて、とても嬉しくありがたく感じ、励みになりました。

これからも、地域のみなさまとの関わりを大切に、もっと身近に感じられる私たちがたいと考えてます。

支配人 杉本真由美

近江八幡支店

この一年間でたくさんの事を学び、様々な経験をさせていただきました。近江八幡市内でも様々な地域の風習があります。先日お世話させていただいた地域では、町内の菩提寺の永く続く葬儀用本尊を持参され、お通夜から出棺まで故人様を見守る形で葬儀を執り行いました。

今後も地域の風習を勉強し、お客様にもう一步寄り添う気持ちで業務に取り組んでいきます。

ホールスタッフ 根本由紀子

運輸事業部

私たちの業務は、霊柩車や火葬場へのバスの運行等です。大切な方を亡くし悲しみの中におられるご遺族に対し、私たちにできることは何かを考え行動した一年でもありました。

出合いの状況は異なりますが、人とのふれあいを大切に乗車される方に優しく・安らげる時間を提供し、安全運転に努めています。

運輸事業部 辻 藤雄



生花事業部

この一年間、お客様によりご満足していただけるよう、技術の向上に力を入れてきました。定期的に勉強会を行い、スタッフ一人一人がレベルアップを心がけています。これからもお客様のご希望にお応えしながら、より良いものを作り出していけるように努めていきます。

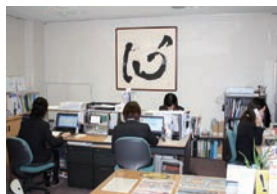
生花事業部 福永剛史



総務部

「総務部としてできること」を考えました。会社の窓口としてお客様への対応を気持ちよく行える接遇の研修、更にサービス向上のためスタッフで検討し小さなおもてなしを実践したり、大切な電話応対では「正確に」「簡潔に」「誠実に」を基本に、思いやりあるプラスαの会話ができるよう心がけています。

総務部 田崎秀子



公益社のエコ活動 美知メセナ

2年目

昨年4月から始めた公益社のエコ活動「美知メセナ」も2年目になります。

今年も一斉清掃を元気に続けることができました。

冬から春にかけては寒さに強い寒椿・パンジー・ビオラ、夏には暑さに強いトレニア・日々草を季節に合わせての植替えを実施。四季を通じ、色とりどりの花が咲き、道行く人の目を楽しませてくれました。きれいな花が咲き続けるように、月2回の一斉清掃活動のほか除草作業、施肥、夏場の毎日の水やり(今年の夏は雨が多く天気に任せる日も)、また道行く人から励ましのお声をかけていただき、気持ちよく活動できました。社員一人一人が協力しあう心を持って、地域社会に貢献できる企業として、来年も元気に頑張ります!

総務部 田崎秀子



雑草と役目を終えた花を抜いて次のお花の準備



一株ずついねいに植えていきます

毎日かさず水やりを行いました



台風あとの清掃活動

作業後みんなで。私たちの気持ちもすがすがしくなりました



この十年来、お年寄りの思い出話を聞いて、絵にして残す仕事に取り組んでいる。

ある年、高齢者福祉にも役立つのでは、ということで、ある町の老人ホームの方々と、利用者一人一人の思い出話を元にしたカルタを作ることになった。お年寄り一人につき一つ、とっておきの思い出を持ち寄り、イロハ四十八人分で一組のカルタを作るのである。思い出話を元に絵札を描き読み札を考える作業には近くの芸術大学の学生の力を借りた。

嬉しかったこと、苦労したこと、ご自慢のひとつばなし…一人ひとりの人生の一場面を集める中には、認知症のために自ら思い出話をするのでできない人もあって、そういう人については、家族などから、その人がかつて語っていた思い出話やその人についての思い出を本人に代わって話してもらい、それを絵に描きまた読み札にした。やがて、世界に一組の「思い出カルタ」が完成した。

そのお披露目に、老人ホームの一室でちょっとしたカルタ大会をしたのだが、ここでとても印象深い出来事が起こった。

学生が読み札を読み上げる。皆絵札を探す。見つけた絵を見ながら互いの思い出話を耳を傾け合う。それを繰り返していき、ある札が読み上げ

られた。どこだどこだと皆で絵札をさがす。とその時、部屋の一角から声があがった。

「それ、私のことや!」

声の主を見ると、重度の認知症だというお年寄りだった。読み上げられたのは、まさしくその人の思い出だった。これには皆びっくりした。自分では思い出話ができないからと、家族の証言を元に絵札読み札を作ったのである。その人が、まさに自分のカルタを言い当てた。施設の職員が一番驚いていた。

「ちゃんと覚えていた」「記憶が甦った」と皆記憶の力に感嘆したのだが、この出来事が気づかせてくれることがもう一つある。

即ち「その人がまさにその人であることのおかげは、その人が独り担わされているのではなくて、その人と生き、その人と思い出を共にする家族や親しい人々もまた、それを分かち持っている」ということである。他者によるその証明の分担は、思う以上に大きくて、時に本人以上にもなる。

私が私であることのおかげを、私が忘れてしまっても、私の周りを取り巻く他者が、あるいは世界がそれを照らしてくれる。我らの本人証明は、このようにして照明される。

TOPIC
1

第66期 期首全体会議

毎月、社員全員が集う早朝全体会議を実施し各部署のコミュニケーションと意思統一を図る場としております。おかげさまで、10月1日公益社の第66期新年度の期首全体会議を開催することが出来ました。

各部署から第65期の検証と結果報告並びに、第66期の目標と取組みについての発表を行い、全社員が新年度の決意を新たにしました。

今期のスローガンは『平常心～調和と協調から生まれる新たな絆～』です。

禅語でいう平常心「日常の小さな行いもおろそかにしない心」で自分自身の真実(ありのまま)の姿を素直に認め受け入れ、私心なき心で広くひとの教えを受ける心を磨き、物事を色眼鏡で見ることなく、自然に適切な判断ができるよう、一人ひとりが新たな絆を築くこと、力を合わせて事にあたりバランスの取れた業務を目指すことを誓いました。 葬祭事業部 木瀬信一



▶ 取り組みの発表



▶ 社員代表 決意表明

TOPIC
2

第19期
公友会定時総会

10月16日(木)公友会(公益社の主要協力業者会)の定時総会が開催されました。公益社の65期の報告と、66期の経営方針発表のあと、社員代表から今期もより一層の協力をお願いをさせていただき、公友会代表の決意表明ではお客様目線に立った品質の向上を図っていく決意を新たにしました。

研修会では、ISO(品質・環境)とプライバシーマークについての講習と、エクスペリエンス・マーケティングで数々の書籍を発刊されている『藤村正宏』先生の「モノ」を売るな「体験」を売れと題し講演を拝聴しました。

「モノ」だけを扱うのではなく、お客様に役立つプラスαで信頼と実績を得られるというまさに今期のスローガンを実践していけるような内容でした。あるがままの自分を見つめ、お客様に何が出来るかを心あらたにできる有意義な総会となりました。 葬祭事業部 木瀬信一



TOPIC
3

お役に立とう! 社内勉強会 安全運転研修

平成26年8月26日(火)・27日(水)・29日(金)



◀ 真剣に学科試験をうけています

運輸事業部 中山良輝

去る8月26、27、29日に運輸事業部主催の交通安全および交通法規の勉強会を行いました。日常から運転業務に携わることが多々ある中、日頃あまり意識していない事や、運転免許取得から年数が経っている者は、交通法規変更点など改めて自覚できる有意義な機会となりました。研修会では学科試験も行い、事後フォローや合格点に達するまで追試を実施することで、緊張感と個々の自覚も促すことが出来ました。

今期の目標のひとつ「無事故無違反」を目指し、これからも様々な場面で想定し運転技術やマナーの研修を行っていきます。

Iris club Activity report 1

凜凜講座
「パワーストーンブレス教室」

平成26年9月25日(木)
武久商店(東近江市東中野町)・カフェグレコ(彦根市平田町)

彦根市中央町の藤塚時計店さんから講師としてお越しいただきパワーストーンのブレスレット作り挑戦しました。開運の目的(金運、健康運、恋愛運、仕事運、美容効果…)に、また、四柱推命から自分に強いカラー等も教えていただき、数多くある中から厳選した石を使って世界に一つの自分だけのブレスレットをつくりました。

パワーストーンは悪い運氣やマイナスエネルギーを吸収してくれるとも言われています。そんな奥深い石の力を感じながら終了後はケーキとお茶でのティータイム。出来上がったブレスレットを終始和やかな雰囲気の中、みなさんの腕にはパワーあふれるブレスレットが輝いていました。 総務部 宮井香織



Iris club Activity report 3

日帰りバスツアー

「神戸どうぶつ王国&神戸港」

平成26年10月11日(土)

今年は、リニューアルされた神戸どうぶつ王国と神戸港にあるショッピングモール モザイクでお買い物。台風19号接近による天候を心配していましたが、当日は晴天に恵まれ暑いぐらいの1日でした。

どうぶつ王国では、なんとこの日“怪鳥”ハシビロウが関西で初登場! 大きなクチバシと鋭い目を持つ大型の鳥を身近な距離で観られて感動的でした。

また優しい性格のアルパカやカピバラと直接触れあえたり、大はしゃぎで写真を撮ったり、陸ガメやペンギン、微動だにしないフクロウをまじかに見られたくさんの鳥や動物と触れあうことができました。

お昼にはフラワーシャワーにて満開のお花の下でランチバイキング、季節のお料理を堪能しました。

帰りの神戸らしい港の近くでのお買い物では時間が足りないくらいに…。

これからも、皆さまとの絆を大切に楽しい企画を考えてまいります。

八日市支店 杉本真由美



Iris club Activity report 2

終活セミナー開催

平成26年9月29日(月)
メモリアルプラザ公益会館

開催当日は、こちよい風が金木犀の香りをほのかに運んでくれる秋晴れの日となりました。

冠婚葬祭コンサルタント成亥正三郎氏による『これからのお葬式』～後悔のないお葬式のために～と題しまして、約70名の皆さまに面白おかしく、また分かりやすくお話をいただきました。

今後も、地域の皆さまに感謝の気持ちをこめて取り組んでいきます。

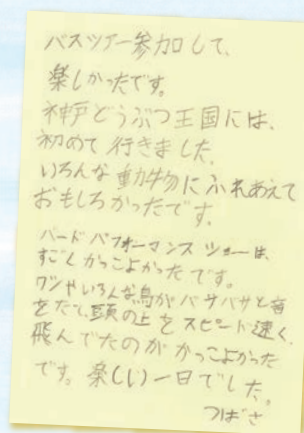
葬祭事業部 川口尚正



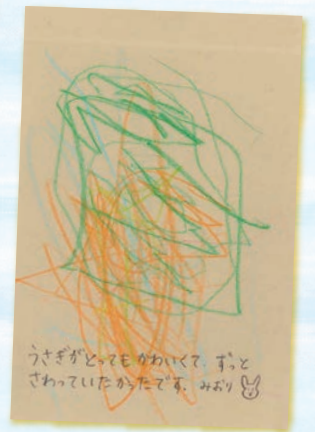
怪鳥 ハシビロウ



▲けんしん君 5才/近江八幡市



▲つばさ君 12才/長浜市



▲みおりちゃん 3才/近江八幡市

メモリアルプラザ公益会館
式場イス新調しました

座りごちを重視し
格調あるレザー張のイスに
入れ替えました。



終活 ～エンディング・ノート～ ③

エンディング・ノート作成の3回目は遺言や財産管理の記載について案内いたします。

エンディング・ノートの記述を充実させておくと遺言が書き易いと聞きます。エンディング・ノートに詳細に財産分割の指定を記載した場合でも、その内容に法律効果を持たせたい場合には遺言を準備するのが一般的です。遺言は亡くなった後に法律上の効力が生じますが、エンディング・ノートにはその効果がなく、また契約でもないため強制力もありません。ではエンディング・ノートを活用する意味はどこにあるのでしょうか？

活用ポイントは「役割」「守備範囲」に注目して「ええとこ取り」をして下さればよいと思います。ほぼ確実に実行したい金銭財産関係のこと(財産相続など)にはお亡くなり後の法的効力がある遺言の活用をお勧めし、お気持ち・お願いと・知ってもらいたいこと(お葬儀や仏

さま供養、医療介護のことなど)や、判断能力が衰えた場合の備えへの対処としてエンディング・ノートの記載をお勧めしています。

生きている間に不幸にも判断能力を失くしてしまわれる方がおられますが、判断能力が衰える前にエンディング・ノートと任意後見制度や民事信託(家族信託)契約との「合わせ技」の活用を紹介することがあります。任意後見制度は、お元気なうちに将来の判断能力の低下に備えて、予めもしそういう状態になった場合には、ご自身に代わって財産管理を信頼できる人(任意後見人)に行ってもらうことを公正証書で契約しておく制度ですが、任意後見人にエンディング・ノートを見てもらい、できるだけこのようにしたいと伝えることができます。任意後見人は法律・契約の範囲内でお気持ちに沿う選択をしてくださると思います。また、民事信託(家族信託)契約もエンディング・ノートとの組

み合わせにより、判断能力が低下しても、生きている間のご自身の意思・希望を「契約」でもって信託受託者(ご家族や弁護士・税理士など)が実現する努力をしてくれるはずです。エンディング・ノートを見て行動してもらいたい旨を十分伝えて信託契約を締結しておくのです。

この任意後見人や信託受託者は第3者に監督されますので、ご自身の大切な財産などを安心して託すことができると言われています。

エンディング・ノートと遺言を役割に応じて使い分け、財産管理に関して、ご自身のライフプランの実現可能性が

高まるとよいですね。エンディング・ノートの航海、次は相続・名義変更に寄港いたします。

たい たかゆき
田井 尊之
大辻税理士法人
パートナー税理士

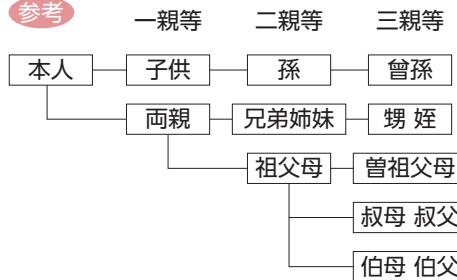


喪中ハガキの疑問

■何親等までの親族に不幸があった場合出すのでしょうか？

基本的には故人との関わりの深さや本人の考え方によりますが、目安として二親等までとされる場合が多いようです。祖父母の場合は同居していた場合は出す。そうでない場合は出さないという判断されたりと決まりはありません。迷われた場合は、親族の年長者に相談されるのもいいかもしれません。

参考



■喪中ハガキを出すのはどこまでの範囲ですか？

年賀欠礼状ですから、毎年新年賀状を出している方です。喪中であることを改めて申し述べる必要のない親族いわゆる「身内」には出さない方が多いようです。仕事関係先は公私を分けて考えられる場合もあります。

■出す時期は？

年賀欠礼状ですので新年の前、12月に届けば問題ありませんが、喪中ハガキをいただいた方には年賀状を送らないという礼儀がありますから、先方が年賀状の用意をされる11月末～12月中旬までに届くようにされる場合が多いようです。

※仏事にはルールや「これが正しい」と言われるものはありません。各家庭のお考え、地域、宗教などによって異なることはいくつもあります。私たちがご紹介するのは一般論や現在比較的多数を占めていると思われる世間の動向などでみなさまの参考になれば幸いです。(吉田良子)

think JAPAN

喪中はがき

喪中ハガキとはその年に近親者に不幸があった場合、毎年新年賀状で新年の挨拶を行っている方へ「今年は近親者の喪に服するため新年の挨拶を欠くことを事前にお知らせするための挨拶状(年賀欠礼状)が喪中ハガキです。喪中という言葉は近親者の死を受けて悲しむ者が過ごす儀礼状態に自分がいることを示す言葉です。

それでは忌中とはなにか。神道では死を穢れと考えられてきました。穢れを祝いの場に持ち込まない。殺生をしてはいけない時期で一般的には死後四十九日(神式では五十日)の忌明けまでを忌中。死後、1年間を喪中と言います。神社にお参りできない、というのも同様の意味です。



アイリスクラブ 提携店ご案内

会員のみなさまの暮らしに役立つお店を紹介するコーナーです。詳しくは各店にお問い合わせください。

会員特典

車検の整備工賃から**5%割引**



— あなたの信頼できるパートナーに—
それが私どもの誇りです。
車のことなら何でもお気軽にご相談ください。

グローバルオート

〒522-0244 犬上郡甲良町在士619-4
tel.0749-38-4119

会員特典

宿泊料金から**10%割引**
チェックアウト午前10時→午後2時 無料延長



JR南彦根駅西口から徒歩約2分 ビジネスや観光の宿泊にアクセス抜群のホテル。アットホームで飾らないところをお客様に喜んで頂いております。ぜひご利用ください。

みなみひこねステーションホテル

〒522-0043 彦根市小泉町289
tel.0749-26-0755

会員特典

ソフトドリンクサービス



びわ湖畔に店を構え、駐車場も広く立ち寄りやすく、メニューは小腹を満たす「うどん」「そば」からガッツリ食事をされたい人の「定食」「浜弁当」そして甘味の「わらび餅」「あんみつ」まで種類も豊富。ファミリー、カップル、仲間同士等で手作りの味を楽しんでください。

お食事処 つるつる

〒522-0002 彦根市松原町1250-5
tel.0749-47-5588

今年も残すところ、あと少し。

すっかり冬らしくなってきたこの頃花壇やプランターには葉ぼたんが見られるようになりました。

冬の玄関や庭はもちろん、門松などお正月のお花には欠かせない葉ぼたん。この葉ぼたん、なぜお正月に飾られるのか諸説ありますが、1つには冬の俳句の季語にもある「寒牡丹」の代わりだといわれています。葉が牡丹のように美しいことから「葉ぼたん」と呼ばれるのもわかりますね。もう1つは、葉が紅白あり幾重にも重なっている様子から「吉事が重なる」として縁起物とされ飾られるようになったともいわれています。

門松だけでなく、寄せ植え・アレンジフラワーなど和風洋風どちらにも映える葉ぼたん。この冬はぜひ飾ってみませんか？



冬のお花
花言葉

葉ぼたん✽慈愛・祝福
梅✽忠実・気品
千両✽可憐・裕福
福寿草✽幸せを招く・永久の幸福
水仙✽自己愛・神秘



紅白で和やかに 環で迎えるお正月

●まあるく和やかに 新年をお迎えます●



水引のリース

紅白の水引で和テイストのリース
市販の水引で簡単に作れます

材料：水引 赤20束 白20束 稲穂
ワイヤー 和紙 お好きなお花

- ① 赤水引20束を輪にしてワイヤーでとめる。
- ② 白水引10束を12cmくらいの長さに切り中心をワイヤーでくくる。
- ③ 稲穂と②の水引を①の輪の上部にワイヤーでとめる。
- ④ 残りの白水引をワイヤーで束ね③と同様にくりつける。
- ⑤ ワイヤーを和紙でかくし、お好みの花を挿してできあがり！



お花のリース

紅白のお花で華やかな生花のリース

材料：葉ぼたん 千両 ピンポンマム
スプレーカーネーション 水引
リース型オアシス(大きさは好みで)



- ① 赤と白のお花をバランスよく挿していきます。
- ② 紅白水引を飾りつけできあがり！



ワンポイントアドバイス
お花の種類はお好みでかえても good!

10周年大感謝際開催しました!

平成26年9月 19日(金)・20日(土)・21日(日)

お天気にも恵まれ、たくさんのお客様にご来店いただきました。

色とりどりの秋のお花での寄せ植え教室や、観葉植物などの鉢物・切花の大特価セールなど大にぎわいの3日間となりました。

初めてご来店いただいたお客様にもフラワーガーデンアイリスを知っていただけ嬉しい限りです。

おかげ様で10周年を迎え、こうして無事に大感謝祭を終えることができました。これからまた新たな気持ちでみなさまに愛されるお店づくりを心がけていきます。

本当にありがとうございました。



◀初めてのお客様も楽しみながら、ご参加いただいた寄せ植え教室

展示販売も大人気 ▶
切り花、鉢物、雑貨の大セール!



まだまだやります!!

おかげさまで10周年
“Thanks キャンペーン”

12月25日(木) クリスマス

クリスマスギフトお買い上げのお客様には
クリスマスカードプレゼント!

プレゼントのランキング上位には、毎年お花のギフトがランクイン!最近ではプリザーブドフラワーも人気です♥

今年も
やります!

2015年 お正月

毎年大人気のお正月のお花!!
今年は何んなアレンジ!?

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

2015年2月14日(土) St.バレンタイン

2月14日ご来店のお客様には、
IRISからフラワーギフトプレゼント!

日本では女性から男性にチョコレートというイメージですが、「大切な人にお花を贈る日」という国もあります。

フラワーバレンタインなんてお洒落ですよ!



彦根市小泉町696番地8
tel.0749-26-8783
flower-garden-iris fax.0749-26-4141



アイリス広場

Q & A

- Q** 私のところでは、「じゅずおくり」というのがありますが、どういう意味があるのか気になっています。(東近江市 女性)
- A** 地域により行われる時期(お彼岸・地藏盆等)や意図(祈念)する内容は異なりますが、この近辺では葬儀後に行われることがあります。
一つの大きく長い数珠を手に持ち、念仏を唱えながら数珠を繰り、親族と一緒に地域の隣組などで、横に回していくという、「百万遍」の儀式を行う風習です。百万遍とは、皆で念仏を唱えることで、そのありがたさが何倍にもなると考えられています。例えば、20人で千回「南無阿彌陀仏」と唱えることで、2万回お経を唱えたと同じということになり、極楽浄土へ旅立つ故人へのはなむけとして行われています。しかし、地域や菩提寺との繋がりが希薄になってきている都市部では省略されることもあります。
- Q** 会館の場所が家から不便で、セミナー等参加できません。駅から便利なところでしてもらえると助かるのですが…(近江八幡市 女性)
- A** 公益会館でのセミナーがほとんどでしたね。これからは施設やお寺などでも開催できればと検討しております。今後の予定はこれからの紙面でもお知らせいたします。

みなさまのおたよりから

- お寺、神社の住職・神主さんの「お話」を聞く機会があれば嬉しいのですが…(東近江市 男性)
- 墓に関する特集・相続登記について取り上げて欲しい。(東近江市 男性)
- アイリスクラブ通信、月1度の発行してほしい。(東近江市 女性)
 - たくさんのご意見、ご要望いただきありがとうございます。私たちからの情報をより多くお伝えできるようこれからもメンバーで試行錯誤しながらよりよい紙面づくりを目指します。現在の発行は年4回で3ヶ月分を凝縮しております。
- よく通る道で、いつも綺麗に手入れをされ美しい花を咲かせてくださって、思わず笑みがこぼれます。(彦根市 女性)
- 暑いなか、花の手入・清掃ご苦労さまです。くれぐれも健康には気を付けて下さい。(彦根市 男性)
 - いつもお声をかけていただき、ありがとうございます。これからも元気に続けてまいります。
- フラワーガーデンアイリスを初めて知りました。あまり彦根に行く事はありませんが、そちらに行ったら是非立ち寄りしたいと思います。定休日はあるのでしょうか？(東近江市 男性)
 - お正月三が日のみ、お休みをいただいておりますが、あとは年中無休となっております。是非お立ち寄りください。(営業時間 9:00~18:00)

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社：〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地
TEL.0749(22)5000(代) FAX.0749(22)0042

伝統 淡海の老舗

■ 出口酒店

創業享保2年(1717)、布屋を営んでいた当時の屋号「布市」が今も店先に挙がる。当時、店主の布屋市兵衛は井伊家より名字帯刀を許された御用商人であった。故上田道三氏の描いた明治の店の様子には、安政4年(1859)に彦根藩が御用金集めのために行った藩内2207名の商人を対象とした調査で、上ノ部375名のうちの一つに挙げられていたことが書き添えられており、有力商人の一角であった。

明治時代になると、「布市」の店名のまま、5代目が造り酒屋として新たな商いを始め、京都伏見の酒蔵から取り寄せた酒に火入れを行い、「松の心」や「戎鯛(えびすだい)」といったオリジナルブランドの日本酒を販売するようになった。現在は、酒類の卸し小売販売の専門店である。店舗にさりげなく置かれている壺やラベルなどはすべてこの家に由来する品々であり、往時が偲ばれる。

創業当時から各時代ごとに建てられた蔵が残り、今も古くから



の馴染み客は店を「布市」と呼んで親しんでいるという。

協力 出口酒店
彦根市河原3丁目4-37
tel.0749-22-0050

絵 故上田道三氏

年末大感謝

ご愛読者プレゼント

会員のみなさまに日頃の感謝の気持ちを込めて

新年のお祝いに
大吟醸「長寿金亀」1升詰

はなやかなお正月の花飾り
「迎春寄せ植え」



- 同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。 **応募締切 平成26年12月20日(土)必着**
- 当選された方にはプレゼントお渡し日・場所をご連絡させていただくと共に、次号にて発表させていただきます。

vol.51「みやおえんのお茶とお菓子の話合せ」ご当選者

- 彦根市 / 山本陽子様・阿部良治様・宇田良子様
- 東近江市 / 筒山美代子様・平井とき江様・藤田忠雄様・平井令子様・松吉弘幸様
- 近江八幡市 / 首藤孝美様・数本正江様

*写真はイメージです

ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は

☎ 0120-61-4000